

【③会議結果】

会議結果（要旨）

会 議 名	平成30年度第1回音更町総合教育会議
開 催 日 時	平成30年10月18日（木）午後1時00分～午後1時50分
開 催 場 所	音更町役場 第3委員会室
委 員 出 席 者	音更町長小野信次、音更町教育委員会教育長宮原達史、教育長職務代理者田中義博、教育委員石川秀朗、教育委員種川健
事 務 局 出 席 者	企画財政部長渡辺仁、企画財政部企画課長重堂真一、教育部長福地隆、教育部学校教育課長草浦富美、教育部生涯学習課長佐藤直樹、教育部文化センター館長兼図書館長小塩教敬、教育部スポーツ課長吉田寛、教育部学校教育課総務係長加藤正之
傍 聴 者 数	無し
議 題 ・ 諮 問 内 容	1 会議録署名者の指名 2 会期の決定 3 協議事項（1） 教育に関する諸条件の整備について 協議事項（2） その他
会 議 資 料	
会 議 結 果	別紙会議録のとおり
（出された主な意見等）	
お 問 合 せ 先	教育委員会学校教育課総務係

### 【③会議結果】

#### 平成 30 年度第 1 回音更町総合教育会議会議録

と き 平成 30 年 10 月 18 日

ところ 役場 2 階 第 3 委員会室

委員出席者 小野町長、宮原教育長、田中教育長職務代理者、石川委員、種川委員  
事務局出席者 企画財政部長渡辺仁、企画財政部企画課長重堂真一、教育部長福地隆、教育部  
学校教育課長草浦富美、教育部生涯学習課長佐藤直樹、教育部文化センター館  
長兼図書館長小塩教敬、教育部スポーツ課長吉田寛、教育部学校教育課総務係  
長加藤正之

傍聴者数 0 人

開会（13時00分）

平成 30 年度 第 1 回音更町総合教育会議

（教育部長）

ただいまから、平成 30 年度第 1 回音更町総合教育会議を開催いたします。

本日、川井委員から欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。

それでは、今年度の人事異動後初めての会議となりますので、人事異動のあった職員のみ紹介をさせていただきます。

まず、重堂企画課長です。

（企画課長）

重堂でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

（教育部長）

それから、小塩文化センター館長兼図書館長です。

（文化センター館長兼図書館長）

小塩です。よろしくお願いいたします。

（教育部長）

これ以降の進行につきましては町長にお願いいたします。

（町長）

それでは議事に入らせていただきます。

はじめに会議録署名者の指名を行います。本日の会議録署名者は種川委員を指名いたします。

続いて、会期の決定を議題といたします。会期を本日の 1 日間としたいと思います。ご異議  
ございませんか。

（各委員）

ありません。

（町長）

異議なしと認めます。会期を本日の 1 日間に決定いたしました。

### 【③会議結果】

協議事項（１） 教育に関する諸条件の整備についての件を議題といたします。事務局から説明をいたします。

草浦学校教育課長。

(学校教育課長)

それでは、お手元に資料①の全国学力・学習状況調査結果経年比較グラフと、資料②の全国学力・学習状況調査児童・生徒質問紙回答結果経年比較グラフの２冊を配布しておりますが、はじめに資料①をご覧くださいと思います。

１ ページをお開きいただいて、左側に全国学力・学習状況調査の内容を記載しております。

１ 目的については省略させていただきます。２ 調査対象は小学校第６学年及び中学校第３学年。３ 調査日は毎年４月中旬であります。４ 調査事項につきましては、（１）教科に関する調査については国語、算数及び数学のそれぞれＡ・Ｂが毎年実施されております。理科は３年に１度実施されております。これにつきまして、資料①でご説明いたします。（２）児童生徒に対する質問紙調査につきましては、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等について質問しており、こちらにつきましては資料②でご説明いたします。

それでは１ページの上段、小学校国語Ａのグラフをご覧ください。棒グラフにつきましては、本町の平均正答率で、グラフの上の方に平均正答率が表示されております。また、一番左側から平成２８年度、平成２９年度、平成３０年度の経年のグラフとなっており、年度の下に括弧内は対象となっている６年生の児童数となっております。棒グラフの上に横に引いてある実線が全国平均の正答率のライン、波線が全道平均の正答率のラインであり、本町の平均正答率と比較することができます。棒グラフの下のほうにある折れ線グラフは、いわゆる下位層といわれる正答率が４割以下の児童数の割合となっております。

それでは、小学校国語Ａからご説明いたします。小中学校ともＡ問題が主に知識に関する問題であり、Ｂ問題が主に活用に関する課題であります。小学校国語Ａの本町の平均正答率と、全国全道平均との比較につきましては、平成２８年度、平成２９年度はほぼ同程度の下位、またはやや低かったものが、今年度につきましては、同程度となっております。下位層の児童の割合につきましても、平成２８年度の１０.５％から２ポイント減少し、８.４％となっております。次に下段の小学校国語Ｂであります。本町の平均正答率と全国全道平均との比較につきましては、平成２８年度、平成２９年度は低かったものが、今年度は全国平均とは同程度、全道平均とはほぼ同程度の上位となっております。下位層の児童の割合につきましても、平成２８年度の３６.５％から４.９ポイント減少し、３１.６％でございます。次に２ページをお開きください。上段の小学校算数Ａですが、本町の平均正答率と全国全道平均との比較につきましては、平成２８年度、平成２９年度は全国平均よりやや低く、全道平均とほぼ同程度の下位だったものが、今年度は全国平均とほぼ同程度の下位、全道平均と同程度となっております。ただし、下位層の児童の割合につきましては、今年度は１９.３％となっております。下段の小学校算数Ｂですが、本町の平均正答率と全国全道平均との比較につきましては、平成２８年度、平成２９年度は全国平均より低く、全道平均よりほぼ同程度の下位、またはやや低かったものが、今年度につきましては、全国平均と同程度、全道平均とほぼ同程度の上位となっております。下位層の児童の割合につきましても、今年度は４２.３％と減少しております。３ページをご覧ください。グラフの訂正なのですが、左側のほうに（生徒数）というふうになっておりますが、こちらが児童数で、

### 【③会議結果】

位置も下のほうになります。3年ごとに実施される小学校理科の結果となりますが、平成27年度も今年度も全国全道平均と比較してほぼ同程度となっております。下位層の児童の割合につきましては、今年度は17.1%となっております。

次に、中学校のご説明をいたします。4ページをお開きください。上段の中学校国語Aですが、本町の平均正答率と、全国全道平均との比較につきましては、平成28年度は全国全道平均よりほぼ同程度の上位、平成29年度は全国全道平均とほぼ同程度の下位だったものが、今年度は全国全道平均ともほぼ同程度の上位となっております。下位層の児童の割合につきましては、3年間とも横ばいで、今年度は2.5%となっております。下段の中学校国語Bですが、本町の平均正答率と全国全道平均との比較につきましては、平成28年度は全国全道平均よりほぼ同程度の上位、またはやや高かったものが、平成29年度は同程度、今年度は全国全道平均とほぼ同程度の上位となっております。下位層の生徒の割合につきましては、今年度は16.5%となっております。5ページをご覧ください。中学校数学Aですが、本町の平均正答率と全国全道平均との比較につきましては、平成28年度は全国全道平均と同程度、平成29年度はほぼ同程度の上位だったものが、今年度は全国平均とほぼ同程度の上位、全道平均よりやや高い結果となっております。下位層の生徒の割合につきましては、平成28年度から、4.2ポイント減少し13.8%となっております。下段の中学校数学Bですが、平成28年度、平成29年度ともに本町の平均正答率と全国全道平均とは同程度又はほぼ同程度の上位だったものが、今年度は全国平均とほぼ同程度の上位、全道平均よりやや高い結果となっております。下位層の児童の割合は、平成28年度の50.8%より12.8ポイント減少し、今年度は38%となっております。次に6ページの理科であります。平成27年度が全国全道平均と比較してほぼ同程度でしたが、今年度は全国全道平均ともほぼ同程度の上位となっております。下位層の児童の割合につきましては、今年度が4.3%となっており、3年前の調査と比較すると大幅に少なくなっております。結果につきましては、単純に年度で比較するものではございませんが、今年度の小学校の結果につきましては、算数を除く教科で全国全道平均と同程度又はほぼ同程度の上位であり、また、本町における学力向上の推進の重点である、下位層児童生徒の学力向上については、3教科で減少しております。また、中学校の結果につきましては、全ての教科で全国全道平均よりほぼ同程度の上位からやや高い結果となっており、下位層の児童の割合につきましても、4つの教科で減少しております。

次に資料②の全国学力・学習状況調査児童・生徒質問紙回答結果経年比較のグラフをご説明したいと思います。資料につきましては、児童生徒質問紙の回答結果から9問を抽出し、質問ごとに小学校・中学校で平成28年度から平成30年度までの3年間でグラフにしております。はじめに、自己に関する質問ですが、(1)「自分にはよいところがあると思いますか」という質問では、小学校では今年度「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が89.5%となっており、平成29年度と比較して13.4ポイント増えております。中学校におきましても、今年度「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒は87.4%で、平成29年度と比較して14ポイント増えております。続いて、(2)「将来の夢や目標を持っていますか」という質問では、小学校では今年度、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が88.6%となっております。中学校においても、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒は75.7%で、児童生徒共に

### 【③会議結果】

3年間で増加しております。続きまして、(3)「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問では、小学校では、今年度「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が97.1%、中学校では96.5%で児童生徒共に非常に高い割合となっております。続きまして、2ページをご覧ください。生活習慣に関する質問となっております。(4)「朝食を毎日食べていますか」という質問では、小学校では今年度「食べている」または「どちらかといえば食べている」と回答した児童が96.9%であります。過去3年間とも高い割合となっております。中学校につきましては、昨年度より0.7ポイント減り94%であります。ここには記載がありませんが、全国全道平均よりかなり高い割合となっております。(5)「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」(6)「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」という質問につきましては、ご覧のとおり結果となっております。3ページをご覧ください。地域や社会とのかかわりに関する質問でございます。(7)「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という質問では、小学校では今年度「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が、67.2%となっており、記載はありませんが、全国平均より5.5ポイント、全道平均より3.4ポイント高い割合となっております。また、中学校においては65.1%で、これにつきましても全国平均より6.1ポイント、全道平均より5.8ポイント高い割合となっております。(8)「地域や社会でボランティア活動に参加したことがありますか」という質問では、今年度は小学校では43%、中学校では60.2%となっております。その他(9)「新聞を読んでいますか」という質問では、小中学校ともに全国全道平均より「読んでいる」という割合が高くなっております。

以上で資料の説明を終わらせていただきます。

(町 長)

引き続き、吉田スポーツ課長。

(スポーツ課長)

平成30年度音更町サッカー場使用状況についてご説明いたします。この資料につきましては、10月末までの使用受付分を掲載しております。はじめに、練習、大会等の使用状況につきましては、延べ534団体、延べ3万24人の利用となっております。次にその使用申請をした団体の一覧であります。町外の団体におきましては、近隣だけではなく十勝管外の団体にも利用いただいております。裏面をご覧ください。使用日数であります。平成30年度につきましては、4月1日から11月30日までを予定しております。4月は、降雪により5日間使用できなかった日がございましたので、使用日が25日となっております。年間の使用日の合計は209日となっております。9月につきましては、地震及び節電のため3日間夜間の使用を休止しております。また、昨年度はプレオープンとして11月2日から使用を開始いたしまして、降雪により11月21日で使用終了となっております。大会一覧をご覧ください。15大会で49日間使用されております。下から2行目となりますが、全国大会といたしまして、日本クラブユース選手権U-15大会で使用されております。全国から48チームが出場しまして、十勝には約3千人の交流人口があったと聞いております。大会全体としましては、帯広の森・幕別町陸上競技場・中札内交流の森・音更町サッカー場の各会場に分散して行われましたが、大会期間中の8月中旬は雨天が続いたこともあり、大会関係者からは天候に左右されず、非常によいとの評判でありました。この大会につきましては、もともとは福島県にあります、サッカーナショナル

### 【③会議結果】

トレーニングセンターJヴィレッジで開催されておりましたが、平成23年の東日本大震災に伴いまして、施設が営業を休止しまして十勝で開催されるようになりました。Jヴィレッジにつきましては、今年の夏から営業を再開しておりますが、この大会は2020年まで十勝で開催されることになっておりまして、来年以降も音更町サッカー場を使用させてほしいというような話もございます。

以上、説明とさせていただきます。

(町長)

説明が終わりました。これから教育長、教育委員の皆さんからご意見などをお話しいただければと思います。資料に関する質疑でも構いません。

まず、種川委員からお願いいたします。

(種川委員)

全国学力・学習状況調査の部分で感想を申し上げたいと思います。最初の説明にありましたように、小学校が全国並みで、中学校が全国を上回るという結果になりました。この資料には3年分が掲載されておりますが、それ以前は、特に小学校が学習の学力の状況についてはかなり厳しいものがありました。ですが、町としての教育施策や臨時教諭、学習支援員の配置が成果となってこのような結果に現れてきているのだなど、大変喜ばしく思っているところです。

(町長)

次に、石川委員お願いいたします。

(石川委員)

私からは、資料②の生活状況に関する質問の回答についてですが、まず「自分にはよいところがありますか」や「将来の夢や目標をもっていますか」といった項目では、今年度の調査の中で「当てはまる」という回答が多くなり、自己肯定感といわれているところが、非常に子どもたちの中に定着しているのかなと思っています。この中で特に注目したいのは、左端の「どちらかといえば」ではなく「あてはまる」という回答が増えており、自分の思いがはっきりしてきているところがいいなと感じています。また、学校訪問に行きますと、以前はしっかり先生の話聞いてはいるのですが、静かだったような印象がありました。最近は非常に子ども達の反応がいいというか、先生から問いかけられたら「はい」と手を挙げて発表をしますし、授業形態も我々のようなお客さんがいても気にせずに、グループにパッと分かれて自分たちの世界で話ができるだとか、非常に積極的に発言をしていると感じています。そういった面からも、先ほど種川委員の発言の中にもありましたが、臨時教諭などを採用していただいていることで、児童生徒たちと接する先生たちの数が増えていて、1クラスに2人配置されていることも増えています。その分、複数の先生たちが違う角度で同じ子どもたちを見ることができていて、先生同士でも子どもの状況について共有できているのかなと思います。様々な部分でまた以前と違う見方が出来ていて、子どもたちの反応一つひとつに対して広く受けとめられていて、細かいことが拾えているのかなと思います。そういったことが次の指導に生かされているとすれば、子どもたちは話を聞いてもらえているし、先生はそれに対する適切な指導をするという好循環が生まれているのかなと、学校訪問などを通して感じているところであります。

(町長)

それでは、田中教育長職務代理者お願いします。

### 【③会議結果】

(田中教育長職務代理者)

先ほどの資料に則って3点お話をさせていただきたいと思います。まず1点目、学力テストについてですが、全道も改善傾向にあるということですが、先ほどの説明にもありました正答率が4割以下の割合が完全には改善されていない部分もありますが、概ね改善されているということでした。これは先ほどから話に出ている臨時教諭などのマンパワーが大きいと思います。もう1つ、いろいろとご無理を言いまして、実物投影機やモニターなどを入れていただきます。学校訪問に行くと実物投影機やパソコンの画像を使った授業は、子どもたちの反応がとてもいいと思います。ですから、私としては今後も臨時教諭の採用の継続と、電子機器の導入をもう少し進めていただけたらと思っております。

2点目の学習状況調査についてなんですが、先ほどから話にも出ている自己肯定感や、将来の夢や目標、人の役に立つ人間になりたいですかといった質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という回答が多いのは、音更町の子どものいい所だと思っております。最初に言った学力などは認知能力と言われておまして、2点目の自己肯定感や将来の夢などは非認知能力と言われております。つまり、この分野で良い結果が出るということは、勉強だけではないということを表しています。これは大変良いことなのですが、例えば資料②の3ページに「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」という質問に「参加したことがある」と回答した児童生徒が非常に多いです。これはよく言われることですが、認知能力・学力とは違う部分の成長に関して、地域社会の活動に参加するとかボランティア活動に参加するというのはすごく有効だと言われております。本町の子どもたちはそういったボランティア活動などに参加しているので、逆に言うと自己肯定感や目標を持っているとか、人の役に立ちたいと思える人材がいるということです。今後も小学生や中学生が社会参加できるような行事や事業を継続していただきたいと思っております。

最後のサッカー場の使用状況については、初年度から幸先の良い結果だと思っております。先ほどの説明の中にはありませんでしたが、十勝スカイアースの選手で教員免許を持っている選手がいて、その選手は実際に下音更小学校で期限付き教諭として子どもたちに教えています。教員不足が問題になっているところにあって、十勝スカイアースのメンバーがそういった面で貢献してくれているということがあります。それから、今度、総合型地域スポーツクラブが発足されると聞いています。今、少年団や部活動の指導者の育成が難しいという現状があります。そこで、十勝スカイアースのメンバーに指導者の育成を手伝ってもらえたらと思っております。他の町村にもありましたが、連携協定を結んでいただくと話はスムーズに進むのかなと思しました。

(町 長)

それでは、宮原教育長お願いします。

(教育長)

お話ししたいことは3人の委員の皆さんからほとんど出ているのですが、例えば学力テストで言いますと元々小学校では結果が伸びず、中学校で伸びるという傾向がありました。今回、小学校もやっと伸びる兆しが出てきたということで、これは学校の努力が大きいのはもちろんですが、教育関係の方によりますと、生活習慣をきちんとするだけで小学校は成績が全然違ってくるとい話も聞きます。例えば、質問紙の中に生活習慣についての質問がありますが、先

### 【③会議結果】

ほどから出ています自己肯定感であるとか、地域の役に立つとか、将来の目標であるとか、そういったものを持っていると学校でも主体的・能動的な授業参加ができる。それをまた小学校の先生が引き出してくれているのではないかなと感じています。その辺を意識しながら、学校でも校長先生たちが頑張っていて、小学校では中学校に負けるなどといった意気込みで取り組んでいるところです。教育は1年や2年で大きな成果が出るものではありませんが、だんだん芽が吹きはじめているのかなと感じています。新しい知識を身につけていくというのは、やはり学校現場での活動によるところが大きいものではありませんが、家庭の力というものもとても大切なので、できれば学校だけではなく、地域一帯となったコミュニティ・スクールというものがありますので、そういうもので少しずつでも保護者の皆さんに意識していただければと感じております。ただ、今年やったからといって来年すぐに結果が出るようなものではありませんので、地道な取組が必要だと思っております。

(町 長)

今それぞれ様々のご意見をいただきましたけれども、他に皆さんの意見を受けて気づいた点があれば付け加えていただきたいと思います。

種川委員。

(種川委員)

音更の子どもが、とても好ましい育ち方をしていることが資料から分かるのが大変心強くうれしく思います。先ほどもありましたように、家庭と学校と町の施策が相まってこういった子どもが育ちつつあるという実感が持てるのは、大変良いことだと思っております。

(町 長)

田中教育長職務代理者。

(田中教育長職務代理者)

教育委員になって4期目で、11月で丸12年になります。先ほどいった臨時教諭や学校教育相談員といった人材の配置をぜひお願いしたいと教育委員になった頃によく話していました。今言った臨時教諭や学校教育相談員の配置、実物投影機等の導入など、厳しい予算の中から入れていただいております。当時とは町長も教育長も変わられていますが、途中で中断することなく継続されて今まで来ているというのが、12年間やってきてうれしく思っております、これからも継続していただきたいと思います。

(町 長)

たくさんのご意見、お話の中で高い評価を皆さまからいただきました。感謝の意味もこめまして、ご意見いただいたことを含めて少しお話をさせていただきます。学校環境は人口減少も含めてですが、時代と共に変化をしていかざるをえません。そうであっても、最初に種川委員が、これまでの教育行政の充実によって良い結果が出ているのではないかというお話をされました。教育の効果というのは時間がかかるけれども、今そういう結果に結びついているんだなと思えました。また、併せて田中教育長職務代理者からお話がありましたように、マンパワーや実物投影機などの導入についても、教育長や教育委員の皆さんが、子どもたちがどういう生活環境・教育環境であれば学力面に關心を持つのかということを考え、間違いのない、切れ目のない教育行政全般にわたっての施策を継続し、良い意味で自己評価をされたのかなと思いません。

### 【③会議結果】

そして、石川委員さんからも出ていましたけれども、各学校現場を見たときに、子どもの積極性がどうやって生まれるかという、もちろん地域社会や家庭生活なども関係すると思えますけれども、児童生徒に接する先生たちの努力が音更の教育向上に繋がっていて、子どもたちの積極性、そして結果的に今の成果が生まれてきているのかなという思いで伺っておりました。

教育長からもお話がありました生活習慣に関しては、歴代の教育長をはじめ、誰が考えたのかと感心しておりますが、早寝早起き朝ごはんや生活習慣というものは、現在は家庭だけで昔はこうだったと伝えられる状況にあるのかと考えてしまいます。そうした時に、生活習慣をきちんとすることで成績も違ってくるという話もあり、学校として生活習慣に関してうまく指導されている結果が、こうしてあるのだなと思えますが、やはり昔から言われている家庭、学校、地域社会の3つをきちんとリンクできるようにして、コミュニティ・スクールというものにも社会全体が関心を持ち、これからの環境づくりに取り組んでいくべきだというご意見もいただき、まったくその通りだなと思えます。そういった中で、結果としてここまで来たなということも本当に皆さんの努力の成果だと思えます。

併せて、先ほど吉田スポーツ課長から説明がありましたけれども、皆さん方の努力で、サッカー場が見事に出来上がりました。まだオープンから1年経っておりませんが、効果というものは多大なものがあり、まさに教育とはここにあるなと思えました。どういうことかと言いますと、この資料にもありますが、あらゆるところからこのサッカー場に憧れてくるということ。サッカーに憧れてというのは誰でもあったと思えますが、サッカー場に十勝に憧れて来るところが、非常に教育効果が高いのではないかなと思っています。併せて、今年各種大会が開催され、十勝管内の大会の中でも、地元の中学校3校が準決勝に進出するという、まさしく即効力のある、そして、これからも続いていこうという期待感と自信がついたのかなと思えます。それから、田中教育長職務代理者からありました十勝スカイアースについてですが、わが町の教育を含めて最初からこの効果について関心が持たれておまして、どの程度、どのようかというのは相互の中で距離間が少しずつ見えてきたのではないかなと思っています。そういった意味では、ご意見にもありましたけれども、総合型地域スポーツクラブですとか、芽室も実施している協定など、環境的にはしっかり整っているんで、慌てることなく、これから教育委員の皆さんのお力を借りながら、進めていければいいかなと思っています。

長くなってしまって申し訳ありません。最後に、教育効果の一番というのはやはり学力が優れると心も豊かになって、この結果にあるようにボランティア活動などの社会参加というものが出てきます。文武両道、あるいは一芸に秀でれば多芸に通ずという言葉がありますが、やはり夢のある結果が出れば人間というのは表に出ようとする。そうしたことで、ボランティア活動や地域の祭事への参加の高さに表れているのではないかなと思えます。皆さん方からいただいたご意見などをお聞きして、今までの皆さんの努力に本当に頭の下がる思いですし、また、今いただいたお話をしっかり受け止めながら教育行政を推進し、そして町が一体となって前に進んでいきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

私が勝手に長く話してしまいましたが、意見交換ということで、何かお話いただければと思いますが、いかがでしょうか。

田中教育長職務代理者。

### 【③会議結果】

(教育長職務代理者)

十分思いを言えましたし、伝わってきました。何か話そうと思えばマンパワーだとか、そういったお金の話になってしまいますから、申し訳ありません。

(町 長)

力強いなと思ったのは、皆さんの話にもありましたけどもマンパワーの中に教育効果を得たというのは、臨時教諭を含め人の補強をしたことで下支えができたというのはやはり大きいと思います。例えば夏休みなど長期休みのときに先生を退職したような先輩方も足を運んでくれて、まさにマンパワーとして子どもたちの成長を補強してくれている。そういう音更の教育に関心を持たれている方がいるということ自体が本当にありがたいと思います。

最後に何かご意見ありましたらお願いしたいと思います。

田中教育長職務代理者。

(教育長職務代理者)

先ほど少しお話しさせていただきましたが、学校訪問で授業を拝見すると、先生は板書をするときに子どもに背中を向けることになりませんが、実物投影機を使って画像をモニターに映して授業を進めると、先生は常に子どもたちの方を見ることができます。そうすると、先生が子どもたちの様子を観察することができます。こういうことは昔では考えられないことでしたけど、今の時代には効率が良いんだろうなということを感じました。

(町 長)

石川委員。

(石川委員)

子どもたちの様子を見ながら資料に書き加えたり、それがモニターに映ってそのまま見ることができて、また様子を見ながら次のことを提案していくというように授業が進んでいく。そういった姿を見て、効果があがるだろうなと思いました。

(町 長)

田中教育長職務代理者。

(教育長職務代理者)

先生たちも、そういう新しい機器を使って、どのように子どもたちに授業をしようかと試行錯誤して努力してるんですね。

(町 長)

我々は単純に自分たちをアナログ世代って言ってしまいますが、これからの社会の変化を僕らが拒んでしまうと、それで次の世代が育っていくのかという思いがします。現場で見た様子をお話いただいて、今の人たちが何を要求しているかというよりも、今の社会がこんなに変わったってことを、どうやって我々が捉えていくかということが必要だと思います。ただ、お金がかかることではありますが、そうは言っても、パソコンを入れ始めたときのことを振り返ったら、最初に取り組むときは大変厳しいですが、今は大々的にパソコンは入っています。こういった会議の中でご意見いただいたようなことも将来に向けて声に出していかないと形になっていかないし、そのときの必要性というものを考え、先輩として歴史を残していかないとけないなと思います。

少し話は反れるかもしれませんが、今の教育財産でスポーツに関係する施設や図書館も含め

### 【③会議結果】

て、あの当時箱物と言われたものでしたが、今振り返ったらその財産は再度建替える必要はありません。費用対効果といわれてしまうとなかなか厳しいですが、教育には費用対効果だけでは計れないところがあって、だからこそ石川委員も言われましたけれども、やっぱり子どもたちの生き生きする姿があって、その効果が後世に伝わっていくというのはその町の礎になっていくものだと思います。こういう環境が児童生徒の皆さん方がわくわくするのだろうと思います。

種川委員。

(種川委員)

子どもたちの生き生きした様子に関してなんですが、児童生徒質問紙で今回の資料に掲載していなかったもので音更の子がよく伸びているなど思うのは、学校の先生方の努力の結果だと思いますが、「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が全道全国に比べて非常に高いです。これは本当に先生方が努力してくれているなどと思います。それから、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対しても全道全国に比べて非常に良い結果が出ています。「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」や「家の人と学校での出来事について話をしていますか」という質問も「している」と回答した割合が全道全国に比べて非常に高い結果でした。いろいろなところで音更の子どもの伸びやかさ、良く育っている様子が窺い知ることができるなど思いました。

(町 長)

まさにそこですね。先生と児童生徒に信頼感が生まれているということが、良い教育現場をつくることにつながっているなど思いました。いいこと尽くめばかりではないといいながら、先ほど学校教育課長の説明にありましたように、今までこれだけ下位層の児童生徒がいたけれども、少しずついい方向に向かっているという説明はまさにそういうことかなと思って聞いていました。

それでは、これで協議事項(1) 教育に関する諸条件の整備についての協議を終了いたします。

これで、本会議に付されました、協議案件の審議はすべて終了いたしました。提案した協議案以外に教育長、教育委員及び事務局から何かあれば発言してください。

(各委員)

ありません。

(教育部長)

それでは、これをもちまして、平成30年度第1回音更町総合教育会議を閉会いたします。

閉会(13時50分)